

第4期 熱海市図書館協議会 第4回議事録

開催日時 令和6年8月29日(木) 午後3時

開催場所 熱海市立図書館5階 第一会議室

出席者 【出席委員】 山口委員・山本委員・藤川委員・関口委員・三澤委員
【事務局】 図書館長・図書館管理室長・図書館管理室主幹

○司会

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。私は本日の司会をさせていただきます図書館管理室主幹の神山です。よろしく申し上げます。最初に館長の小林より申し上げます。

○館長

はい。本日、このような天気の中でお集まりいただきまして皆さんありがとうございます。出口先生がいらっしゃいませんが、このような天気ですと学校の子供が心配だということで、急遽欠席との連絡がありましたので報告させていただきます。今年度図書館は大きな工事が続けざまにありまして、やっと5階が終わって一息ついて、夏場は通常開館をして、また、9月10日から3階の工事になります。そのあと12月10日からは全館休館という形となり、皆様にはご迷惑おかけしてしまいますが、ご協力の程よろしく願いいたします。出来ればスマートフォンやパソコン等を使用して、資料予約、検索とかも可能ですので、まだやっていらっしゃらない方は、この機会に覚えていただいて、周囲にも広めていただきたいと思います。

前回の協議会の中で、今回は図書館の実行プランの説明をやる予定ではいたのですが、工事の関係の進捗等ありまして、なかなかその成果の説明ができない状態ですので、これについては、次回に延期させていただきたいと思います。今回は次第がお手元にあるかと思っておりますので次第に沿って議事を進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

本日はこのような悪天候です。また5時以降には雨が強くなる可能性もございますので、早めに進めさせていただいて、1時間を目安に終了させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○司会

続きまして山口会長挨拶をお願いいたします。

○会長

挨拶ということでもないんですけど、こういうときは足元が悪い、それしかどうも考えつかないんですけど、よくお越しくございました。今期の第1回目になりますよね。議案についてはここに書かれてる通りですので、早々に、こんなお天気ですので始めたいと思います。最初の議案についてどうぞ、事務局の方からご説明をお願いいたします。

○室長

はい。それではお手元の資料、議題1、令和5年度の図書館運営実績についてをご覧いただければと思います。数値は確定前の数字ですのでご了承ください。1、(1)図書館利用状況といたしま

して、図書館の利用状況、本館電子図書館でございます。こちらにつきまして今年は、本館は276日、移動図書館につきましては171日の、利用実績がございました。貸出人数につきましては、本館が電子図書館も含めまして、30,853人、移動図書館が3,166人、合計で34,019人でした。貸出冊数につきましては、本館が91,248冊と移動図書館が10,518冊、合計で101,766冊となっております。去年の数字ですと、合計で、貸出人数が36,625人なので若干の減少が見られました。貸出冊数も同様で、前回は104,723冊でしたので、3,000冊ほどの減少、前年比3%貸出本の冊数が減ったというところでございます。利用人数、こちらを見ますと、令和5年度が2,557人となっております。前年度が2,603人となっております、利用人数については増加をしているというところでございます。

(2)電子図書館の利用状況でございます。貸出冊数につきましては1,186。閲覧回数につきましては、21,435となっております。次に男女別の利用状況でございます。6歳刻みで書かれているところでございます。一番右側の方に比率と書かれているところですが、こちらについては見ていただきたいと思いますがまず比率のところですが、0歳6歳7歳9歳というところで、小学生になってですね、利用者カードを作るということもあると思うんですが、ブックバスの利用も含めて、若干増えているところですが、10歳から、ですね、22歳ぐらいまでのところを見ますとかなり低くなっているというところが見受けられます。おそらく中学校に入ってから高校ですね、その期間、なかなか図書館を利用する機会がないのかなというところが見受けられます。一方でですね60歳から70歳以上、こちらの方見ますと、この数字だけで、60%を占めているというところが見受けられます。熱海市の高齢化率が大体50%弱というふうに言われてるところを考えると、それよりもやや高い形で図書館の利用がされていくのではないかと感じしております。

次に、(4)月別貸出者状況でございます。貸出者数につきましては、先ほど申した通り、若干の減少が見受けられるというところですが、熱海市の人口も少しずつ減っているというところもございますので、その辺の影響もあるのかなというふうに感じしているところです。

次に2番、主な実績、実施事業でございます。まず1つ目、おとどけパック事業でございます。こちらにつきましては、園児一人ひとりが良質な本を通して豊かな人生を歩めるよう図書館司書が選書した本を幼稚園等に持っていきまして、絵本と触れ合う環境を提供する事業となっております。こちらにつきましては、昨年度実証実験的に、絵本をパックにして各園にお届けをはじめ、今年度から事業化というところになっております。

次に学校連携事業でございます。今年度につきましてはまず、多賀、熱海、泉中学校の方でタブレットの常時説明会の方を行いました。また同様に、初島小中学校の生徒児童の方に説明会の方を行ったところです。それに付随しまして、3番目の丸になりますが、初島小中学校の児童生徒からの図書館の本の予約につきまして、漁協の方と市役所の方の文書受渡システムを利用しまして、予約本の受け渡しを可能にするようなシステムを作りました。それにより初島小中学校の児童生徒も図書館を利用できるようになりました。

次に電子図書館事業でございます。令和5年9月からですね、雑誌読み放題パック、約180タイトルですが、こちらの方を導入したところでございます。4番目、図書館内Wi-Fi設置事業でございます。令和6年3月より、図書館4階一部閲覧コーナー、また、5階学習室につきまして、フリーWi-Fiフリースポットのほうを設置してあります。5番目図書館内開催行事でござ

います。令和6年2月9日に図書館講座を行いまして、『図書館のための簡単な本の修理』原案・監修高岡容子先生を招き本の修理講座を実施したところでございます。

簡単ではありますが、図書館の運営実績について報告させていただきました。

○会長

はいありがとうございます。わからなかったこととか何か質問事項ございますか。

三澤さんいかがですか。

○三澤委員

おとどけパック事業とは、どのぐらいのスタンスでお届けというか

○室長

はい。これにつきましては2ヶ月に1回という形で、本の入れ替えをしているところです。

毎回季節の行事などにあったようなものを選書しながら、また対象となる年齢が異なるところがございまして、その辺を工夫しながら選書しているところがございまして。

○三澤委員

感触というか評判なんかいかがですか

○室長

評判については、かなりいい返事をいただいております。といいますとやはり本を買う予算がなかなか確保できないというところで、定期的に本が送られてくるというところで関係者からはお話をいただいているところです。

○会長

ちょっと立ち入ったことを伺いますが、すべてどこもかしこも素晴らしいっていう感じですか。

○事務局

この事業は1年間の実証実験で「楽しみにしています」というお声はいただいたうえでの本格稼働であります。最近では先生方から「このシリーズを次も持ってきてください。」というようなやりとりもあります。

○会長

いいですね。いつ行くよってというのはどうやってアナウンスするんですけど。

○事務局

メールでそれぞれの園に連絡しています。

○会長

他に関口さんいかがですか

○関口委員

こういうの聞いて、すごくいいなあと小学校とか中学校に広げてできればいいなと。

○事務局

はい、先ほど事業報告のありました学校連携事業のタブレット説明会に伺った際、初島小中学校は、図書館の本を子どもが予約したら子どもの本も学校に届けてくれば、学校から子どもたちに渡してもいいですよって、学校の方から言っていたんです。初島に本を運ぶっていうシステムはないんですけど書類を運ぶというシステムがあったので、書類を運ぶというシステムで学校に一度届けて、その学校から子どもに渡してもらっています。これは移動図書館

もいかない、初島の子どもたちは図書館に来館するハードルが高いというなか、かなり大きな一歩かなと。

○三澤委員

このタブレットから子どもが予約を入れて、それが学校に届くってことですよね。いいですね。

○会長

すごくいいですね。

○事務局

これ本当に学校の協力がなくて、誰々さんの分ですってというのが学校に届くので。

○三澤委員

そうですね。

○会長

それ以外で何かございます。

○藤川委員

本館の開館日数 276 日ってこれは多いの少ないの。前の報告書で見ると、282 日とかそういうのがうたっていたような気がしたけども。

○室長

はい。これなんですけれども、令和 5 年の 11 月なんですけれども、図書館システムの入れ替えがございました。その時にですね、休館しておりましたので、その時の部分で去年その前よりも少し減ってるというところがございます。

○館長

11 月分だけ実績がかなり落ちていると思うのですが、その時期には図書館システムの入れ替えと蔵書点検を合わせて行いました。

○会長

どうなんすかね、こういうのってやっぱりいわゆる言葉悪いけど一喜一憂っていうのは、ああ減っちゃったなあとかちょっと去年より減ったなあなんていうのは、やっぱり考えたりするもんなんですかご担当の方々としては

○館長

人口も減っていて子どもたちもどんどん少なくなっているのに、ある程度維持できているのではないかと。もう本当に子どもの人数は、今年度の出生率 100 人をきっています。学校もどんどん子どもって減っていますが、それなりに貸出冊数は維持できています。

○藤川委員

いや、だからこれを見てですね、祝日をどうするって話をしたと思うんです、だからそうすると開館日数をふやした方がやっぱり、本を借りてくれる人が非常に多いのかなと思うんですよね、だからそういう意味でちょっとお聞きしたんですけれども。

○館長

これは来年度の予定ですけど、祝日の開館を考えております。

○藤川委員

ぜひぜひよそでは普通ですからね。だけどこれ予算のあることで人数を増やさないといけない？

それよりシステムを変えてくれた方がいいんだけど、そこまで手は届かない？

○館長

藤川さんがおっしゃっているのは、デジタルアーカイブの話ですか

○藤川委員

いや IC、IC チップのほう

○館長

IC チップの方は昨年度予算要求の段階で新しい図書館ができるときに考えるということになりました。ちょっと先延ばしになります。

○藤川委員

ぜったいだめかな

○館長

この建物の中では無理ですね。

○藤川委員

無理か。なんか本が無くなっているんです。なんか嫌だなあと思って、例えば『続・熱海物語』とか読もうと思ったら、ないとかね。

○会長

それは配備する本についての図書館さんの考えで、盗まれたとかそういう意味じゃなくて

○藤川委員

盗まれているじゃないかと。

○会長

盗まれている！

○室長

はい。確かに図書館資料の中でですね一部見当たらなくなるものってのは、ないわけではないです。ただ郷土資料の中で見る限りですと、今のところそういう大きな被害はありません。ただ、新刊の中で、所在がわからなくなる本が出たりするものもあります。予約が入ったので取りに行ったら、新着本なのに何故かないとか

○藤川委員

それは紛失してる。誰かに貸し出しているんじゃない

○室長

中には処理漏れで、貸してしまってるんだけどシステム上で貸出処理がされていなかったってということもあると思います。持っていかれてしまったと言いがたいところがあるんですね。ただ中にはそうかなと思われるものもあります。

○館長

人気がある本で、なかなか返却されない方もいらっしゃるんで、そういうことをちょっとご理解いただきたいです。

○室長

少しよろしいでしょうか。さっき関口先生の方から話があった中で、例えば学校の方でも、何らかのおとどけパツク的なものとかで、本が借りられたらいいなっていう考えはございますか。

○関口委員

私の個人的な話なんですけれども。

何て言うんですかね箱に本を入れてみたい、なんかそういうのをいくつも、学校の一室借りてそこで一日図書館みたいなことをやったりしている話もあるので、そういうのもまた目先が変わってブックバスとはまた違う、実際に図書室、図書館の人が来て貸し出しとかしてくれるので、もう本当にそこに図書館があるみたいな。このおとどけバックをもうちょっとこう広げた形で、1日というかその午前中の長いお休みのときに、ちょっと、やってるってところを聞いたので、そういうのもいいのかな。

以前本を置かせてほしいというご依頼が図書館からあったと思うんですけどその時にやっぱり、だれが管理するのかという大きな問題がでたので、図書館の方に来ていただければそういうのもなくなるので場所だけ提供っていうのを学校にお願いすれば、そんなにハードルって高くないのかなという気もするんです。

わかんないですよ。学校のほうも忙しいので、そういうの対応できないよってということも

○三澤委員

あー私も保護者として、中学校の図書室に思ってたよりあまり本がなくて、そういう印象がありまして、調べ学習的なものはあるんですよ。けど、何かもうちょっとこういう読み物とかなんかもっと中学だったらもっといっぱい本があるのかなと思ったら、割とそうでもなかったっていう印象があるので、それに、ただ学校でまた買うとなるとやっぱり予算的な問題があるから、でもブックバスも来てるの知ってたんですけど、またそういう試みもあると、またそれはそれでいいなと保護者の立場としては思いました。今お話聞いていて。

○室長

ありがとうございます。非常に参考になりました。

○会長

細かく見ていくと改善していくことができそうなことありそうですね。ただやっぱりその分手間かかるというか、学校側もそうだし、図書館もそうだけれども、何か知恵使ってできるということではありますね。

○館長

例えば、今学校にブックポストを図書館側から提供しているので、借りた方はそこに入れてもらえればブックバスで回収できています。そんな感じで、返却については、大丈夫なのですが、関口先生がおっしゃったように、一日イベントでしたら、図書館の職員が1名ないし2名行って出来るかどうかという問題ではあるので、その辺は、今後検討して来年度以降、それが可能であるか考えていきます。

○会長

やみくもに本をもっていってもね、何かやっぱり、ちゃんとそれなりのインパクトあるものを

○藤川委員

中学校とかそういうところでどういう本をもっていくの。イメージできないんだけど

○事務局

ちょうど先日多賀中も熱中も図書室を見学させていただき、やっぱり学校司書さんがいて、管理されてるなっていうのはすごく感じたんですね。子どもの意見も聞いてこういうシリーズが

今人気とかってというのは、ある程度集めていて努力されてるなって感じました。その中で、図書館から届いたらいい本ありますかと、学校司書さんと生徒さんと両方に聞いたら同じ答えが返ってきました。参考書と言われました。

○藤川委員

そりゃまた、えー参考書。

○三澤委員

参考書ってお金かかるから。お金かかるから多分、ご家庭で潤沢に買える家ばかりではないから。

○会長

親御さんにとって参考書ってもう随分遠い昔だから、自分の手元にないと思うんですが。

○三澤さん

受験用のってことですよ。

○事務局

こちらも参考書っていう驚きがあってどういうことですかって伺ったところ、今、英検とか受ける方が。

○三澤さん

漢検とかですよ。

○事務局

はい検定を受ける方が多いんですって。学校の授業以上のレベルに挑戦する生徒も多くて、そういう試験を受けるので、学校で習ってないことは問題集を解いても参考書がないとだそうなんです。

○会長

参考書を図書館が例えば1週間とか貸し出してすむものなのかな。

○藤川委員

それじゃわからないと思う。

○三澤委員

いろいろ見てみたいんでしょうね。それを見て、買うか買わないとそういうこともあるかもしれませんね。

○会長

そういうのはあるかもしれませんね。

○三澤委員

とにかく熱海に本屋さんが少ないですもんね。いきなり Amazon で買えないですよ、ちょっと見てみないとということもあるのかもしれないよ。

○事務局

意外とそういう回答で、子どもたちは読みたい本がないということはなさそう。本を好きな子はもう図書室を活用してるんだなという印象でした。

○会長

なんか根本的なところですね、本を読むのか、勉強するのか。

参考書って呼ばれてるものは実際この図書館の中にはあつたりもするんですか。

○事務局

参考書はあります。でも中学校が言う参考書は、書き込んだりできる参考書のことだと思うんです。書き込みするものとか、穴埋めするとか、そういうものは図書館では購入していません。

○会長

うん図書館の問題というか結構大きな問題かもしれませんね。子どもたちにとって。

○藤川委員

参考書だとは思わなかったな。

○会長

ちょっと外れるけど実際学校では、いわゆる参考書類っていうのはどういうふう？

○関口委員

参考書は買えないです。学校図書室のお金はそういうものには使えないというかたちです。

○事務局

電子書籍だったら一人一人で見ることができるので、情報をキャッチしながら時代を見ながら、そういうものの電子書籍もそろえていけたらなと思っています。

○藤川委員

そういうのある。

○事務局

まだないですね。

○会長

他になにかありますか

○会長

5番の行事なんですけど何か昔、結構いろんなものを開催してやってらっしゃったようなんですけど、今は図書館内での行事っていうんですかどんな状況ですか。

○室長

はい。コロナ禍の影響もあってっていうところあるんですけども、その関係でいろんな行事が縮小され、なかなかできないようになって、コロナが明けた後、それが元に戻ったかっていうと、実際にはまったく元の形ではないというところはあります。本の修理講座の関係は今までやっていた先生が、ちょっと今なかなかできないというところもあって今回は別の先生にお願いしたところではあります。

○館長

山口会長は、昔、図書館でやっていた歴史をひもとくとか講演会みたいな部分をイメージしてらっしゃるんですか。

○会長

はい。

○館長

コロナ禍で一回延期してしまって、やはりなかなか大勢の人が集まるイベントが出来なかったということで、また、大規模修繕の話もある中で予定が組めない状況になってしまっています。

す。その中で、いろんな方から郷土のことを知りたいという声があがってきて、講演会をやっ
て欲しいっていうのがありましたが、今は別の形での周知を考えていきたいと思います。人が
集まるイベントとしての講演会よりも企画展示とかを進めて、熱海の歴史について興味を持っ
てもらってから、図書館の利用者を増やしていきたいという考えで、年間4回から5回ぐら
いの展示替えをしながら、郷土資料を知ってもらおうというふうに考えております。

○会長

企画展ですよ。あの場所はまだちょっと何か拡張できるといいなって気もするんだけど、山
本さんいかがですか

○山本委員

はい。皆さん努力されていらっしゃると思います。やっぱりね、これだけですかっていう声も
ありますよね。

○会長

努力はもちろんよくわかってますけど、ちょっと寂しい。

○館長

なかなか図書館でできる範囲のことで、どうしても博物館や郷土資料館ではないので、展示ス
ペースもちゃんとしたものができれば、もうちょっと充実した展示もできると。今はあれだけ
のスペースですね。

○会長

もう本当に頭が下がる、ずっとずっと継続していろいろやってらっしゃいますけど、もちろん
これからも継続してずっとやっていらっしゃる。

○館長

そうですね。

○会長

これはどなたがやるんですか。

○館長

今は図書館司書が企画を考えて展示をやっています。

○会長

うん。そうですか。

あと Wi-Fi の手ごたえはどんな感じですか、みなさん使ってらっしゃいますか。

○室長

使ってるかどうかという統計はとっていないんですね。ただよく電話などでですね、図書館さ
ん Wi-Fi 使えますかっていうようなお問い合わせがですね、ちらほら入っております。

実際学習室の方ですけども、パソコンを使ってですね、中には YouTube の講座を見ながら、
勉強したいんだけど、使えますかみたいな方もいらっしゃるんで、一定数は、こちらの Wi-Fi
の方は使われてるようです。

○会長

そうですか。その他ございますでしょうか。よろしいですか
続きまして議題2の方、説明お願いいたします。

○室長

では図書館の空調改修工事による休館等についてでございます。

図書館は建物の老朽化によりですね、空調設備の改修工事が必要となっているところですが、それに伴って図書館の資料の移動などが必要になっているところです。今後の利用制限フロア及び期間です。5階につきましてはすでに終了しているところですが、3階工事こちらが9月10日火曜日から12月9日月曜日まで、3階フロア全体及び5階学習スペースが利用できない形となります。4階工事、令和6年12月10日から令和6年3月20日まで、こちらが図書館の全館休館となっているところです。

次に利用制限の内容でございます。3階工事時ですが、まず3階への立ち入りが不可能となります。また、資料の貸し出しも基本的に不可能です。原則資料につきましては、1階倉庫や5階学習スペース等に退避させる予定です。5階和室につきましては、未整備の郷土資料を退避させます。また市史編纂室を一時的に5階和室の方に移動させます。3階の新しい資料や貸し出しの資料につきましては、4階の新聞コーナーの奥の方に移動させまして、閲覧貸出につきましては、可能としたいと考えているところです。

次に4階工事、全館休館の場合ですが、当然立ち入りにつきましては不可能となっているところです。原則資料につきましては、1階倉庫や閉架書庫等の方に退避させます。閉館時の3階資料と4階の一部資料につきましては、インターネットでの予約貸出につきましては対応する予定です。予約資料の受け渡しにつきましては、4階入口の風除室、小さな部屋になりますが、こちらの方で対応予定です。また新聞閲覧席につきましても、同じく風除室内に、設けて閲覧が可能にしたいと思っているところです。ブックバスにつきましては、通常運行させますけれども、3月上旬については運休いたします。

これにつきましては、ブックバスが新しく買い替えというところがございますので、本の移動が必要な部分と蔵書点検がございますので、その期間に合わせて運休をする予定です。また今回の休館期間を利用しまして、資料の配架場所の見直しを行う予定でございます。以上でございます。

○会長

はい。ありがとうございます。

長いですね。

○室長

そうですね。昨年部分から半年近くという形での休館という形になってしまいますが理由としまして、空調工事になりますと天井を落としたりするとどうしても音が出るところがございます。そこをちょっとご理解、ご理解の方お願いいたします。

○会長

はい。他に一言を申し上げたいとかあります。藤川さん何かあります。

○藤川委員

ちょっと不思議なのはインターネットで予約貸出、これはどうやって本を引き出すの。どこに置いてあるのか、おそらくできるのかなと思ってそこが不思議だ。

○室長

はい。通常1階部分につきましては、コンテナに箱詰めをして、どんどん山積みをしていく形をとりますので資料を引き出すことができないという形になります。ですので貸出する資料に

つきましては山積みではなく、平積みなり取り出せるような形でうまくやりたいなと思っております。

○藤川委員

と思いますが。

○室長

やはり問題がございまして、どのぐらいのスペースをとるのかって話になりますと。対応ができないのではないかっていう懸念があります。ですのでその辺はちょっと精査をする必要が出ると思っています。

○会長

これは決定事項、途中やっぱりできなかつたっていうことにはならないってことですか。変な聞き方だけど。

○館長

実際わからないですよ。3階の工事をやってその中で問題点を見ながら、全館休館に入りたいと思ってますね。今本当に試行錯誤しながら、できるだけ利用者の方に迷惑かけないような形で対応したいと思ってますのでご理解ください。

○会長

ここ二、三年ですね。図書館さんは非常にメディアの使い方がおじょうずになってきたなと思ってるんですけど、新聞に今月も毎週、週に2回ぐらいずつ図書館が何してるとかどうしたって出てるし、4月ぐらいにいたっては10回ぐらい新聞に出てたみたいだった。だからそういう意味で、外部のいろんな方々に話し掛けて、何か自分たちが今取り組んでることを伝えるということとはとても、おじょうずにやってらっしゃるんだなっていうのが見えたので、こういうことなんかもう計画は計画だけど、無理のないところでやるっていうことがなんかできそうだなってちょっと思ったりします。いかがですか山本さん図書館の中にいらっしゃる様子なんかどうなんですか。

○山本委員

広報はしてるんですけど、もっと簡単にこれしかできませんっていうふうに言ってしまってもいいんじゃないかなと思うんですね。この状態が未来永劫ずっとこういうふうになるわけではないので、この半年間のことなんだから、図書館はもっと使いよくなるんだっていうことを広報して、理解を求めたらいいんじゃないかなと思うんです。もっとこういうふうに良くなるんですよってことを打ち出しながら理解求めたらどうかなって。

○会長

関口さんいかがですか

○関口委員

そうですね。5階の時に思ったんですけど、どこまでかりられるのかがわかるといいのかな、もう5階は終わったので、5階のものについては借りられるでいいんですよ。

○事務局

はい。

○会長

情報の出し方ですね。8月でも7回の新聞載ってますよ、図書館のことは。クーリングシェルタ

一図書館で100人以上って載ってましたよ。

○室長

はい。涼みどころですよ。

○山本委員

「涼みどころ」は熱海市のホームページに載ってるんですよ。図書館はお水がついていますしね。

○藤川委員

めちゃくちゃいいことです。図書館なかなかやるなど。

○山本委員

でもね職員さんは大変ですよ。コップとお水と気にしてらっしゃって。

○藤川委員

給水方法がちょっと、そこは目つぶってるからいいけど。

○事務局

はい。給水の仕方の見た目をもう少し気を付けます。

○会長

4時になりましたのであと10分ぐらいでまとめるって感じですね。

○館長

その他いいですか。

○会長

はい。ではその他にいきますか

○館長

ここ図書館はもともと蜂須賀別荘でして、そのご縁で蜂須賀別荘にあった「鳥の絵」が今、図書館所蔵資料になっています。その「鳥の絵」を山階鳥類研究所の学芸員さんに来ていただいて調査したところ、小林重三の絵だということがわかり、我孫子市鳥の博物館の企画展に、熱海市立図書館の所蔵資料として展示されています。ご報告させていただきます。

○会長

はい。その他なんですけど、読売新聞からこちらに取材があったと思うんですけど、「トビー」の話。

○館長

はい。オールコックとトビーの話。『とおい日のトビー』という紙芝居がありまして、これは熱海市親切運動協議会が企画したもので学校に配ったそうです。その紙芝居を書いた方は熱海市出身の漫画家イラストレーターの方でした。今回取材を受けて掘り下げてみてわかったことです。

○会長

20年以上前ですよ、学校に紙芝居を配ったというんですけどありますか

○関口委員

はい。学校にあります。

○会長

ご存じでした。それはすごい。あるんですか。

○関口委員

あるんですが

○会長

利用されてるかどうかはまた別ですかね。

○会長

今日は報告事項が多かったんですが、あと何かこれはどうなのとかありますか。三澤さんいかがですか。

○三澤委員

9月1日に熱海読み聞かせボランティア連絡会で 科学絵本で遊ぼうというのをやりますので、お子さんと一緒に楽しめる講演会ですので、お声をかけていただければと思います。

○会長

委員の方からは、大体話はそんな感じでよろしいですか。ということで事務局にお返しいたします。

○事務局

はい、それではこれにて図書館協議会は閉会いたします。雨も激しくなってきました委員の皆様ありがとうございました。